

大阪情報コンピュータ専門学校 授業シラバス (2022年度)

専門分野区分	映像編集関連技術	科目名	映像編集基礎Ⅱ					科目コード	D0772B1	
配当期	後期	授業実施形態	集中					単位数	2 単位	
担当教員名	山岡 聡	履修グループ	1K(DA/DV/MC/SC)					授業方法	演習	
実務経験の内容	<p>1999年以降TV番組制作、撮影、技術担当。短編映画脚本、監督を年間1～8本担当。 シナリオ・センター大阪校作家集団所属、ラジオドラマ執筆。 シナリオ・センター大阪校にて「短編映画を作ろう」短期講座開催。 大阪情報コンピュータ専門学校にて映像総合演習として脚本基礎・応用講師。 京都芸術大学キャラクターデザイン学科にて脚本講師。</p>									
学習一般目標	<p>映像制作において実作の個別指導を行う。 全体への指導に関しても行うが、全員の作品にアドバイス、添削、修正を行い完成させることを目指す。</p>									
授業の概要および学習上の助言	<p>完成した作品はCMコンテストに応募。プリプロダクションは映像編集基礎Ⅰで行い、CM制作のプロトタイプの実践は前期中に経験させる。 制作を通して作品とは何か？ブラッシュアップとは何かを経験しワークフローの実地的理解を養う。</p>									
教科書および参考書										
履修に必要な予備知識や技能	映像編集基礎Ⅰでのプリプロダクション、CM制作のプロトタイプの実践後の受講。									
使用機器	PC									
使用ソフト	各種映像編集ソフト									
学習到達目標	学部DP(番号表記)	学生が到達すべき行動目標								
	1	作品からのインプレッション考察とテーマ・コンセプトを理解できる。								
	2	アイデアのからの推敲ができる。								
	3	制作に意欲的に取り組むことができる。								
	4	企画内容・制作意図を作品に表現できる。								
	5	フィードバックからのブラッシュアップに意欲的に取り組める。								
達成度評価	評価方法	試験	小テスト	レポート	成果発表 (口頭・実技)	作品	ポートフォリオ	その他	合計	
	学部DP	1.知識・理解			10					10
		2.思考・判断				20				20
		3.態度							10	10
		4.技能・表現					40			40
		5.関心・意欲							20	20
総合評価割合				10	20	40		30	100	
評価の要点										
評価方法		評価の実施方法と注意点								

試験	
小テスト	
レポート	企画の理解と推敲
成果発表(口頭・実技)	制作にあたっての進捗報告・フィードバックの理解
作品	フィードバックからのブラッシュアップを行える、作品の完成
ポートフォリオ	
その他	全四回の集中講義への参加、コンペへの提出まで行う。

授業明細表

授業回数	学習内容	授業の運営方法	学習課題(予習・復習)
第1回	イントロダクション 現状の確認 作品からのインプレッション考察	講義・対話形式	企画書・制作物の準備
第2回	BU作業確認	講義・対話形式	企画書・制作物の準備
第3回	プリプロダクションについて 企画に立ち返る	講義・対話形式	企画書・制作物の準備
第4回	BU作業確認	講義・対話形式	企画書・制作物の準備
第5回	テーマ・コンセプトの見直し 作品テーマ・コンセプトと企画テーマ・コンセプトの違い	講義・対話形式	企画書・制作物の準備
第6回	BU作業確認	講義・対話形式	企画書・制作物の準備
第7回	アイデアの推敲 整理すべきポイント カットにもテーマがある	講義・対話形式	企画書・制作物の準備
第8回	BU作業確認	講義・対話形式	企画書・制作物の準備
第9回	プロダクションの要素 必要な素材は揃っているか？	講義・対話形式	企画書・制作物の準備
第10回	BU作業確認	講義・対話形式	企画書・制作物の準備
第11回	マインドラインの活用 企画で狙った効果は得られているか？	講義・対話形式	企画書・制作物の準備
第12回	作品化のアプローチ デザインの検討	講義・対話形式	企画書・制作物の準備
第13回	提出から進捗報告 当初の形からどう変化したか？総評	講義・対話形式	企画書・制作物の準備
第14回	オンデマンド課題 完成後のプリプロダクション見直し	講義・対話形式	企画書・制作物の準備
第15回	オンデマンド課題 BUポイントの整理	講義・対話形式	企画書・制作物の準備